

自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2 年 1 月 17 日

【事業所概要【事業所記入】】

事業所番号	349460038		
法人名	医療法人紅萌会		
事業所名	認知症対応型共同生活介護事業所 グループホームやまぼうし		
所在地	広島県神石郡神石高原町小畠1513		
	電話番号	0847-89-3611	
自己評価作成日	令和 1 年 11 月 15 日	評価結果市町村受理日	令和 2 年 2 月 18 日

※事業所の基本情報は、介護サービス公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先

【外部評価機関概要【評価機関記入】】

評価機関名	一般社団法人 みらい
所在地	広島県福山市山手町1020番地3
訪問調査日	令和 1 年 12 月 21 日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点(事業所記入)】

毎日屋外に出掛けるようにしています。生活リハビリとして下肢筋力低下防止の目的を持ちながら、季節を感じたり、心身とも気分転換を図ることが出来ます。山間部ならではの澄んだ空気、緑の美しさや秋の紅葉を感じて頂き、笑顔や発語が増えることで生活意欲が向上し、また利用者同士の交流も活発になっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

近隣には協力医療機関である町立病院、歯科医院もあり、緊急時や夜間等、安心である。また、郵便局、町保健福祉センター等もある便利な環境の中の一角にある。お庭も広く、中庭もあり、植えられた木々を見ることで時々の季節が感じられると共に玄関前からも豊かな自然を見る事ができる。そんな環境の中で自由に自分らしく、穏やかに過ごされている。ケアに関しても、一人ひとりができる事は自分の役割として頂き、今までの生活習慣を活かし、機能維持と張りのある生活に繋がられている。日々平等に声かけされ、その時の表情や会話から、思いを汲み取り、思いに沿った支援を心掛け、一日を大切に抑圧しない生活をして頂く様取り組まれている。散歩もしたいと思いつ時に出かけられ、動きは制止せず、見守りを徹底し、思いのままの生活を大事にしている。地域との関わりも庭の一角にある菜園へ季節ごとの野菜の植え付けをして頂いたり、収穫した野菜やお米等を持参して下さる方もいる。色んな方の協力が得られていると共に民生委員の方も度々訪問され、情報や地域行事への声かけ等して頂き、秋祭りや芸能発表会、敬老会等に地域の一人として参加し多くの方と交流されている。目標にある「明るく、楽しく、元氣よく、広げよう地域密着の輪」という職員の目指す目標に向かい日々努力されている。今では家族や地域の方との絆もでき、三者で利用者を支えられ、地域になくてはならない事業所となっている。

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を目のつく所に掲げ、全員が意識できるようにしている。	事業所独自の理念「明るく、楽しく、元気よく、広げよう地域の輪」は誰もが見え易い場所に掲示すると共に職員の名札の裏にも書かれている。全職員が日々意識し、実践する様取り組まれている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事や認知症カフェ等に参加し地域の方々と交流している。	地域の秋祭りや敬老会、芸能発表会等に参加すると共に認知症カフェにも参加し、地域住民との交流に繋がっている。収穫された野菜やお米等を頂いたり、季節の野菜の植え付けをして頂く等、日常的に交流されている。民生委員の協力も得られている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の理解や支援の方法を地域のひとに活かしていきたい。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に開催し、サービスの実情、支援の工夫等取組状況について報告を行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	家族、利用者代表、地域代表、民生委員、行政等の参加の下、現状を事細かく報告し、意見交換の場とし、立場の違いの方々から多くの意見を頂き、サービスに活かしている。日々の状況はホーム便りを見てもらい把握してもらっている。行政としてのお話もしてもらい、とても有意義な会議となっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険課より、運営推進委員として参加して頂き、事業所の実情やケアサービスの取り組みを、運営推進会議を通じて報告し指導を得ている。	運営推進会議へ毎回参加があり、現状については把握してもらっている。また、その都度、相談したり助言もしてもらい、協力関係は築かれている。。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関は自動ドアで、センサー等も設置せず自由に入出りできる。	基本身体拘束はしない方針である。思いのまま自由にという事を大切にされ、動きを制止せず、見守り重視で対応され抑圧しない支援を心掛けている。外部研修に参加し、資料を基に内部研修も実施し、全職員正しく理解している。玄関の施錠含め拘束はしていない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人全体で研修会が実施され、防止に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今後、学ぶ機会を持ちたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	読み上げ理解が出来ているか確認しながら、進めている。納得をしていただいた上で、印鑑をいただいている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者やご家族と、日頃の交流を通じて意見や要望を伺いケアや運営に活かしている。	訪問時や毎月利用料支払いに来られる際に現状を伝える中で聞くように努めている。家族との信頼関係が築かれているので、気軽に意見や要望、また、色んな面で相談される事もある。それぞれの場面での要望はサービスに活かしていると共に個々に対応もしている。電話で相談される事もある。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	研修後や毎日の申し送り等を利用し提案を聞く場を 儲け、反映させている。	日々のケアの中で気付きがあれば聞き取るようにしていると共に申し送り時やケア会議の中でも聞く機会を設け、職員の意見は大切に、運営に反映させている。信頼関係が築かれているので、多くの意見が聴取できている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の家庭の実情、また育児のしやすいシフトを作成するようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内では教育部長による研修が月1回開催されている。事業所内は、研修委員が1年間の計画を立て実施している。外部の研修も参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町内の同業者の連絡協議会が、不定期で開催されている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	要望を伺い、それに近づけるよう職員間で協議、共有し、提供する事で安心して生活できるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	要望にどのように対応できるか検討し、確認しながら関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスを導入する段階で、本人や家族を訪問し、希望や、要望を伺っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	毎日の作業や料理を通じて、関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と職員が相互で支えていく関係が、築けるようにしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまで生活して来られた場所、馴染みの関係が途切れないように支援したい。	家族や親戚の訪問も多く、また、自宅近くの友人も来られる。お誕生日やお正月、お盆には自宅に泊まれる方もいる。週1回は自宅に帰られる利用者もいる。常に馴染みの人や場とに関係が長く続けられる様柔軟な支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホールの席は、他者との交流がしやすいように工夫している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	努めている。退居後も訪問して下さる家族もおられる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃より会話に努め、思いに沿えるよう支援をしている。ケアプランに反映させている	会話する時間を多く持ち、その中から把握する事がある。また、生活歴から判断しその人にあった事を提供し、その時の表情などから検討している。食べ物、散歩、外出等の希望が出る。口頭で言われる方もいる。可能な限り思いに沿う様支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族からこれまでの生活を伺い、経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活を共にする職員として、ひとりひとり観察し、現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアの在り方について、それぞれの意見を反映させて、現状に即した計画を作成している。	家族、本人の希望、主治医の所見、日々のケアの中でのニーズや課題についてカンファレンスで話し合い、その中の職員の意見等を基に担当者会議で検討し、柔軟な計画を作成し、家族の承諾も得ている。モニタリングは毎月、見直しは3ヶ月ごととなっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員間で共有しながら実践や、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の思いに添えるよう柔軟な対応に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事に参加し交流が図れるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	関係が築けるように配慮し、適切な受診ができるようにしている。	町立病院がかかりつけ医となっている。職員が同行し、日々の様子を的確に医師に伝える事ができる。結果もその都度家族に伝え共有している。又歯科も近隣なので事業所が支援されている。歯科がかかりつけ医の場合は、家族対応となっている。眼科、皮膚科も同様である。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師とは相談しやすい関係であり、訪問日だけでなく電話でも相談し、適切な受診ができるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報交換をしている。関係作りも積極的に行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約書を交わす際、事業所でできることを説明している。	利用開始時、重度化した場合や終末期について、できる事できないことを説明し理解が得られている。重度化した場合は主治医から家族に説明されると共に家族、主治医、三者で話し合い、事業所で出来る範囲までは対応するという事を理解してもらっている。その後は医療機関での対応となっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修を行っている。もっと実践力を身につけたい。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防訓練を実施している。近隣の方に協力を得ている。	年2回、消防署指導の下、通報、消火、避難誘導等の訓練を実施し、慌てず、速やかに対応できる様務めている。家族や地域の方の参加もあり、利用者の見守りや避難方法等を把握してもらうと共に協力体制の強化に繋げている。避難場所の確認もしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けには十分配慮している。	個々の生活歴に沿い、そこに人に合わせた声かけや対応をするよう心掛け、常に尊厳を大切に支援をする様周知している。職員間の話し合いでも固有名詞は使わない。また、馴れ合いになっても節度ある対応をする様務めると共に研修も定期的に行い統一した支援に取り組まれている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定の重要性を理解し、働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを尊重し希望に添えるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみに配慮し食べこぼし等、汚れたら直ぐに着替えて頂いてい		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	お膳を拭いて下さる方や食器を洗って下さる方がおられる。	栄養バランスに配慮し、個々の状態に合わせた形態で、その人のペースに合わせ、食を促す声かけをされ、職員も同じテーブルを囲み会話を楽しみながら食されている。皆さん完食。下ごしえ、盛り付け、配膳、食器洗い等、自分の役割として率先してされ、張りのある生活に繋げている。行事食等と一緒にされ、作る楽しみを思い出してもらっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	量は多めの方少なめの方がおられ、希望に沿っている。なるべく旬のものを提供するようにしている。水分は、1、600ccを摂取して頂いている。水分に制限のある方、ムセのある方にはとろみ剤を使用する等個々に応じた対応をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い、自歯が残っている方は歯間ブラシを併用し、夜は洗浄剤に漬けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々に応じた支援に努めている。	自立の方も数名いる。個々の時間帯や表情等から把握し、声かけでトイレでの排泄に努め、機能維持、生活習慣を活かした支援を心掛けている。排便チェックも行い、不穏にならない様、日々気をつけている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動や飲食物で工夫しているが、主治医より個々に応じた便秘薬が処方されており、チェック表で確認し、何日も便秘が続かないように気を付けている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴が楽しめるように支援している。全身状態の確認も行い、塗布薬の支援も行っている。	希望があれば毎日でも入浴できる。湯温や順番の希望にも沿うようにし、入浴が楽しみとなる支援を心掛けている。現在は拒否の方はいない。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温に注意しエアコンを使用したり、希望があれば電気毛布を使用して頂き安眠に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	担当を決め本人の前で名前を読み上げ誤薬のないようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	楽しみや気分転換ができるよう工夫している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	毎日屋外に出かけている。	四季の外出(花見、紅葉狩り等)やドライブ、地域の行事などに出かけている。また、出かけた場所の希望があれば家族に伝えると家族が対応される事もある。散歩は日常的に自由に行かれ、外気に触れる機会も多くある。自宅へ定期的に帰られる方もいる。できるだけ屋外に出かけ、五感刺激や楽しみ、気晴らしの支援に繋がっている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持されている方がおられ支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙の希望があった時は希望に沿っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	気節に応じて皆さんと作成したり、飾って居心地良く過ごして頂いている。	玄関やリビングには季節の装飾品もあり、作品も飾られている。2ユニットの間には中庭があり、季節ごとの木々に咲く花を見ることで季節を感じる事ができると共に安らぎが感じられる。室内は清潔に保たれ、不快な匂いや死角もなく室温にも配慮され、食事準備の匂いや音が五感刺激となり、家庭的であり、生活感のある共有の場となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	思い思いに過ごせるように、時には席変えをする等工夫している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の説明時に馴染みの物を持って来て頂くように説明している。	テレビ、家具(タンス、机、いす)収納ケース、洋服掛け等馴染みの物が沢山持ち込まれている。好きなぬいぐるみや手作りカレンダー、時計、家族との思い出の写真、お花もあり、自分らしくレイアウトされ、快適に過ごせるよう工夫されている。清掃も行き届いている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	表示を分かりやすくし自立支援している。		

V. サービスの成果に関する項目【アウトカム項目】

項目		取り組みの成果(該当するものに○印)		項目		取り組みの成果(該当するものに○印)	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼすべての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼすべての家族と
		○	②利用者の2/3くらい			○	②家族の2/3くらい
			③利用者の1/3くらい				③家族の1/3くらい
			④ほとんど掴んでいない				④ほとんどできていない
57	認知症対応型共同生活介護事業所 グループホームやまぼうし	○	①毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に一度程度ある				②数日に1回
			③たまにある			○	③たまに
			④ほとんどない				④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼすべての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②利用者の2/3くらい				②少しづつ増えている
			③利用者の1/3くらい			○	③あまり増えていない
			④ほとんどない				④全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き活きた表情や姿が見られている	○	①ほぼすべての利用者が	66	職員は生き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②利用者の2/3くらい				②職員の2/3くらい
			③利用者の1/3くらい				③職員の1/3くらい
			④ほとんどない				④ほとんどない
60	利用者は戸外の行きたい所へでかけている		①ほぼすべての利用者が	67	職員から見て利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらい			○	②利用者の2/3くらい
		○	③利用者の1/3くらい				③利用者の1/3くらい
			④ほとんどない				④ほとんどない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼすべての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
			②利用者の2/3くらい			○	②家族等の2/3くらい
			③利用者の1/3くらい				③家族等の1/3くらい
			④ほとんどない				④ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている		①ほぼすべての利用者が				
		○	②利用者の2/3くらい				
			③利用者の1/3くらい				
			④ほとんどない				

(別紙4(2))

事業所名: グループホームやまぼうし

作成日: 令和 2 年 1 月 28 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		日常生活動作の低下を防止したい。	維持、または向上出来る。	それぞれの入居者の生活リハビリを具体的に表記する。服の着脱やトイレリハビリと認識する。特別なことでなく毎日の生活をリハビリにする。足上げをレクリエーションに取り入れ楽しみながら実施する。	6ヶ月
2		転倒事故を起こさない。	転倒事故の防止。	随時アセスメントし、本人の状態を全員で共有する。転倒事例を検討し、何故、そういう行動に至ったのかを考える。本人の行動を理解する。	6ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。